



いせしん

伊仙町議会だより

第25号

発行 伊仙町議会

〒891-8293

大島郡伊仙町伊仙1842

事務局 ☎ (0997) 86-3111

編集 議会広報編集委員会

印刷 (有)奄美新生社印刷



町民体育祭で交流を深めた関西伊仙町連合会の皆さん（綱引き大会優勝）

目 次

- 第3回定例議会の議決状況…………… P 2
- 一般質問…………… P 3～6
- 決算報告…………… P 7～8
- 特別委員会委員長報告…………… P 8、11
- 大分県姫島村研修・議長回想録…………… P 9～10
- 議員の奉仕作業…………… P 12
- 議会のうごき・編集後記…………… P 12

9月定例会で審議された議案等及び議決結果

番 号	議 案 等	議決結果
諮問第2号	人権擁護委員候補の推薦につき意見を求めること	賛成
議案第59号	伊仙町報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第60号	伊仙町国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第61号	伊仙町過疎地域自立促進計画の一部変更	原案可決
議案第62号	平成21年度伊仙町一般会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第63号	平成21年度伊仙町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第64号	平成21年度伊仙町老人保健特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第65号	平成21年度伊仙町介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
追加議案第66号	伊仙町長の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
認定第1号	平成20年度伊仙町一般会計歳入歳出決算	認定
認定第2号	平成20年度伊仙町国民健康保険特別会計歳入歳出決算	認定
認定第3号	平成20年度伊仙町老人保健医療事業特別会計歳入歳出決算	認定
認定第4号	平成20年度伊仙町介護保険特別会計歳入歳出決算	認定
認定第5号	平成20年度伊仙町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	認定
認定第6号	平成20年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計歳入歳出決算	認定
認定第7号	平成20年度伊仙町簡易水道特別会計歳入歳出決算	認定
認定第8号	平成20年度伊仙町上水道事業会計歳入歳出決算	認定
(特別委員会)	伊仙町堆肥生産組合未収金調査の件(特別委員会の解散)	可決
(特別委員会)	伊仙町議会議員の政治倫理に関する条例設置調査の件	否決
発委第1号	伊仙町議会議員の政治倫理に関する条例	取り下げ
陳情第7号	保険でよい歯科医療の実現を求める意見書を政府に提出することを求める陳情	採択
陳情第8号	教育予算の拡充を求める意見書	採択
意見書第1号	保険でよい歯科医療の実現を求める意見書	提出
意見書第2号	教育予算の拡充を求める意見書	提出

一般質問



杉並議員

《火災報知機の設置について》

問 住宅用防災機器の設置及び維持に関する基準、その他住宅における火災の予防のために必要な事項は、市町村条例で定めるとあるが、わが町は制定しないのか。

答 徳之島地区消防組合設立の段階で火災予防上必要な事項を定めることを目的として、徳之島地区消防組合火災予防条例が制定されております。3町の住宅用防災機器の設置及び維持に関する事項を含め基準が示されておりません。



火災報知機

問 関係者だけが知っていれば良い条例ではないのではありませんかと私は思います。住宅火災による死者の半数が65歳以上ということがございますので、住民の高齢化ということで、住民の高齢化ということを考えて早急に設置が必要であると思うがどうか。

答 この家庭用火災報知器の義務が新築においては現在義務化されているが、23年度までは今の既存の家庭においても設置しなければならぬという義務がございますので、早急に対応してまいります。

《監査の結果について》

問 出納監査の結果を見ますと、調定伝票・支出命令伝票・更正伝票と指摘をしているのは年度・月日・目的・理由欄と基礎的な記入漏れで指摘を受けているが、町長はどのように常日頃職員を指導しているのか。

答 課長会等において職員指導等取り組んでおりますけれども、まだまだ足りずに監査委員からご指摘を受けているのが現実でございます。今後このようなことがないように厳重に注意してまいります。

問 監査委員の指摘事項の中で、工事契約事務について入札から落札までの一連の事務は形式を踏んでいるに止まり、更正適正を欠き、形骸化している。特に落札額については最低制限価格を87%としながら入札額は99%前後である。自由にして健全な競争入札に基づいて決定された、適正な入札額とは認められない

と指摘している。町長はこれに対してどのように認識しているのか。

答 監査報告に関しまして、監査委員の方のご指摘を尊重していかなければならないと思っております。これは公正な形での落札でございますので、監査委員の意見を尊重しますが、正しい形で行った入札でございますので、私としては今後少し落札率が下がるような形でいけば町の財政も更に健全化していくのではないかとというふうに考えております。

《ドーム闘牛場について》

問 多目的ドーム闘牛場建設を奄振の中で3町が申請中だと答弁がありました。その後どうなっているのか。

答 全天候型ドーム闘牛施設整備事業ということで今3億を全体事業として要求してございます。今3町で計画を上げていますので、まだ具体的な場所の選定等とい

った協議につきましては、まだなされていない状況です。



全島一・中量級の優勝旗争奪戦 (10月12日 伊仙闘牛場)

《職員採用について》

問 行財政改革特別委員会において、自分たちが作成をした集中改革プランを否定するとうちぐはぐな発言もありましたが、その後13名の新規の職員採用があったが、それに関して警察からの事情聴取等があったのかなかったのか。

答 今回の採用に関しまして、警察からの事情聴取はありませんでした。



琉 議員

《衆議院議員選挙結果について》

問 鹿児島2区において小選挙区では、自民党の徳田代議士と比例復活で民主党の打越代議士の誕生で、1選挙区から2人の代議士の当選で、奄美を含めた鹿児島発展に大きな期待がありますが、町長は両代議士に、今後の期待をどう考えていますか。

答 まず、2人の代議士の当選は、この地域には大変すばらしく、民主党政権になり、奄振予算は、交付金化や、地元要望書・地元提案型等と、両代議士にはしっかりと協議をしながら、地元発展に推進できることは大きな期待がもてるかと考えております。

《障がい者教育について》

問 障がいを持つ子どもの親が様々な問題を抱えていることを知り、生まれながらにして、様々な問題を持つ子ども、また後天的な障がい、保育所・幼稚園・小中学校と、子どもの教育について様々な苦しみ、耐えながら、同じ環境で励ましあいながら子育てをし、中学校までは島内で障がい児教育を受けていますが、高校教育は島外での教育を余儀なくされていますが、親元で島内での教育はできないのか。

答 障がい児教育については、特別支援教育が学校教育法に位置づけられ、地域支援教育連絡協議会の設置で3町に先駆けて行い、各種巡回相談・訪問指導を実施しております。

公立高校での大島養護学校での分校に関しては、伊仙町だけでは解決できません。

3町の教育委員会はもとより、徳之島3町、議会が一緒

になって地元選出県議や関係団体との連携をとって進めることが重要だと考えております。

《福祉について》

問 子宝と長寿の町として特殊出生率日本一、長寿日本一で全国的にも知られている伊仙町において、介護施設事業所も民間も合わせて数多く取り組んでいます。高齢者社会の中での介護状況と実態は、まだまだ不足の状況にあります。町の福祉政策として、特別養護老人ホーム「仙寿の里」においても施設利用者定員が34名で、利用待機者も増床の考えはあるのか。また、ここ近年全国の老人福祉施設での火災事故が相次ぎ、消防法の改正に伴い平成23年までに、スプリングラーの設置が義務付けられました。民間施設には国の補助がありませんが、公立施設には補助がないとのことです。現在特養「仙

寿の里」は、伊仙町社会福祉協議会が運営管理をいたしておりますが、法改正とはいえ伊仙町社協には到底余分な予算はなく、厳しい財源状況の中で、施設利用者に負担して頂くわけにはまいりません。あとは働く職員・介護従事者への協力しかございません。しかし今、全国的にも、介護現場の労働状況のきつさから、介護職離職者が急増している中に、労働環境の悪化は避けなければなりません。長寿の町の福祉政策として、大久保町長は、特養の増床問題とスプリングラー設置についてはどう考えているのか。

答 奄美群島が長寿の島、福祉の島々であり、奄振の中でも、奄美群島全体で福祉事業のビジョンをしっかりと作成し、強く提案していけば、新しい雇用も生まれ、いろんな交流も生まれ、本土からも多くの療養に來られるような仕組みまで可能性が大きく、増床問題とスプリングラー設置に関しましても、積極的に県

へ訴え、町行政が取り組んでいかなければならない事業ではないかと思っております。



他にも、町道の危険箇所についての質問も出されました。(撮影場所 喜念)



利用者にも好評の和室タイプ



美島議員

《町政に対する姿勢について》

問 2期8年を振り返り、政策の実現はどの程度で、その結果はどうか。

答 過去の伊仙町の激しい選挙が果たして町発展につながっていたか。伊仙町はいろんな面で本当は魅力のある町だということを訴えてきました。町民・役場職員の意識改革も進んできました。議会との議論を深めることもできました。また8年間の間で、本郷カマトさんの長寿世界一・子宝日本一の町等々、大々的に世界的に発信されたということも大変な喜びであり、そのことをアピールしながら今後も最大の努力をしてまいります。

《町づくり交付金事業について》

問 徳之島交流ひろば「ほーらい館」の運営状況は。

答 平成20年(8月～3月)は、会員総数が4,564名、歳入が30,119,722円です。

平成21年度(4月～8月)は会員総数が3,584名で現時点での利用者数は50,973名です。

問 平成20年度決算で57,499円の黒字であるが、出向職員の給料を考えると赤字の状況だが、今後の見通しについては。

答 1年間の経過を見てまいりまして、たしかに厳しい状況だと思えますが、今後も経過を見ながら取り組んでまいります。会員数の増加は可能でありますし、将来の医療費の縮減も見込まれますので、指定管理者制度も可能だと考えられます。また会員カードを作成した人が1,500人ぐらいますが、脱会した人もいますので、会員を固定し

ていく努力もしてまいります。

4月以降、運営委員会も開いていけませんので、今後アンケート調査等の結果をふまえ、資料を作成して運営委員会に諮ってまいります。

問 直売所「百菜」の運営状況について、収支と組合員の活動状況について説明を求めらる。

答 6月の売り上げが5,231,544円で、経費が5,420,547円で、マイナスの189,003円でした。7月が5,523,578円で、経費が6,076,335円、マイナスの552,757円でした。8月が5,714,575円で、経費が5,772,141円で、マイナスの57,566円でした。

問 赤字分について今後どのように取り組んでいくのか。

答 オープン以来、いろんな試行錯誤をしながら運営をやっております。会員の皆さん



買い物客で賑わう直売所「百菜」

の今後に期待するとともに、全国流通もできる施設にしていかなければなりません。

通信販売や、インターネット販売の確立体制を充実させ、月に100万以上の売り上げを目指してまいります。また人件費等のコスト削減にも努めてまいります。

《農業振興について》

問 農家所得向上と地産地消を推進していく上で、大型冷凍冷蔵貯蔵庫が必要と考えるができないか。

答 今後、農業所得額50億円を達成するには必要と考えら

れますので今後長期振興計画を策定中でありますのでその中で検討してまいります。

問 家畜農家への養豚の普及は考えられないか。

答 食用加工センターの改築が奄振の中で見通しが出てまいりましたので、今後頭数の確保が必要でありますので現在調査中であります。今後全力で普及活動を続けてまいります。



伊仙町に帰ってきた！昔なつかしい島豚の親子。

《入札制度について》

問 現在の指名競争入札から



一般競争入札へ制度を変えることはできないか。

答 一般競争入札は、透明性・公正さ・機会均等ということとで利点がある。発注する側にとっては有利な条件でできません。全般的にまだ実施されておりませんので将来的にそういう方向に向いていかなければいけないだろうとは十分承知いたしております。今後は、業者の実績や経営状況等を把握しながら、他町とも連携しながら方向性を見出していかなければいけないだろうと考えております。



常 議 員

《伊仙町堆肥生産組合の不祥事に関する、町長・組合役員の責任について》

問 伊仙町堆肥生産組合の不祥事が発生してから約7年経過しているが、町長・組合役員の責任のとり方はどうするのか。

答 回収には最大限の努力をする。土地の差し押さえは役場です。滞ったときは役員会の中ですが、全責任は大久保組合長がとる。

町長の給与を9月1日から10月31日まで50%減額。組合役員については、委員会で検討していく。

《農業振興について》

問 土地改良区の役員組織、運営状況はどうなっている

か。

答 組合員53名、総代32名、理事15名、監事3名、事務局2名体制でしている。経営状況は大変厳しいものがあり、今後は各地区での強力なリーダーシップを持った方、しっかり指導ができる方に理事の人選を検討していく必要がある。東部地区と1工区・6工区・9工区まで徴収率90%、中部地区2工区、5工区の徴収率が40%と非常に悪く、理



かん水施設の視察（三崎地区）

事会での改善策を図り健全化するよう努力していく。農業生産額50億円に向けて、南西糖業・農業委員会・耕地課・経済課・普及所・農協・土地改良区を含めた中で取り組んでいきます。

《観光地の管理について》

問 長寿世界一の泉重千代翁の家・公園・泉芳朗記念碑公園・トイレの管理は定期的にな

なされているか。

答 道路周辺の草刈りは必要に応じて実施、トイレの管理は7月から社会福祉法人南恵会徳州園と契約、週1回定期的に実施、総合グラウンド・瀬田海浜公園・上晴地区にある農作業準備休憩施設5ヶ所を定期的に実施している。今後は芭蕉布研究会と協議して、善処できるような形で進めていきます。



平成20年度に完成した喜念浜園地ロッジ（喜念浜敷地内）

平成20年度 一般会計決算報告

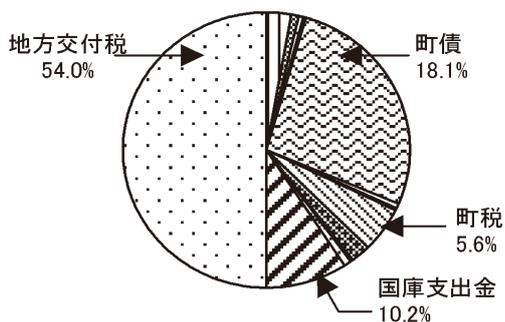
(単位:千円)

款	収入済額
1 町税	292,189
2 地方譲与税	90,488
3 利子割交付金	1,332
4 配当割交付金	204
5 株式等譲渡所得割交付金	46
6 地方消費税交付金	47,811
7 自動車取得税交付金	22,996
8 地方特例交付金	5,803
9 地方交付税	2,838,781
10 交通安全対策特別交付金	1,753
11 分担金及び負担金	55,499
12 使用料及び手数料	40,792
13 国庫支出金	535,960
14 県支出金	231,583
15 財産収入	11,736
16 寄付金	5,982
17 繰入金	0
18 繰越金	28,707
19 諸収入	89,103
20 町債	953,066
歳入合計	5,253,831

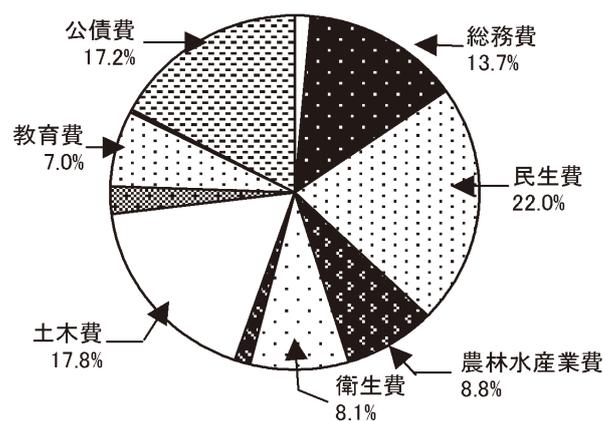
(単位:千円)

款	支出済額
1 議会費	78,247
2 総務費	707,884
3 民生費	1,138,096
4 衛生費	419,888
5 農林水産業費	454,005
6 商工費	63,162
7 土木費	921,541
8 消防費	134,717
9 教育費	361,008
10 災害復旧費	8,499
11 公債費	897,175
12 諸支出金	0
13 予備費	0
歳入合計	5,184,222

歳入の部



歳出の部



《まとめ》

歳入歳出差引残高	69,609(千円)
財政調整基金積立金	50,000(千円)
翌年度繰越額	19,609(千円)

平成20年度 各会計歳入歳出決算額

単位：千円

会計別	予算現額	決算額			執行率		
		収入済額	支出済額	差引残高	収入	支出	
一般会計	6,489,936	5,253,831	5,184,222	69,609	81.0 %	79.9 %	
特別会計	国保	1,528,435	1,293,199	1,528,411	△ 235,212	84.6 %	100.0 %
	老保	87,040	87,041	87,036	5	100.0 %	100.0 %
	介護	826,656	826,731	826,615	116	100.0 %	100.0 %
	後期高齢者	129,128	129,830	129,117	713	100.6 %	100.0 %
	ほーらい館	72,461	72,463	72,405	58	100.0 %	99.9 %
	簡水	149,404	152,462	149,371	3,091	102.1 %	100.0 %
	上水道	102,321	102,491	97,702	4,789	100.2 %	95.5 %
合計	9,385,381	7,918,047	8,074,879	△ 156,832	84.4 %	86.0 %	

特別委員会 委員長報告

平成20年度伊仙町一般会計歳入歳出決算他7特別会計決算審査委員長報告

当、決算審査特別委員会に付託されました、認定第1号 平成20年度伊仙町一般会計歳入歳出決算他7特別会計歳入歳出決算について、去る9月16日に決算審査特別委員会を開き、審査した結果についてご報告申し上げます。

まず開会直後に執行部より決算書の内容について詳細説明を求め、それを受けて各委員よりあらゆる方向から質疑があり、財政難の中にあつて予算が有効かつ適正に運用されているか審議をいたしました。

一般会計においては、法人税の不納欠損額の件数、分担金、公営住宅の使用料や未納者への救済策、繰り越し金等の説明を求めまし

た。

雑入での不納欠損の処理については、滞納整理がなおざりにされていたのではとの指摘があり、休診中で処分が出来なかったが、行政の怠慢を認めました。

入札における高い落札率の経過では、透明性を高めるため指名競争入札から一般競争入札への移行への問いかけに、今後、健全な方向に向けて研修を重ね協議して行くとのことであった。

西部畑総地区の登記の遅れや、喜念浜観光公園事業における土地の登記問題、堆肥センターにおける町の財産管理の問題と課題が累積し、この課題解決に調査し回答することのできた。

それを集約すると、各課において当初計画されていた事業を推進していく上で、計画性や実効性に欠けるものが見受けられ、今後の計

画立案では十分な配慮が必要である。また、町税や保育料又分担金、使用料の滞納状況について質疑があり、鋭意努力しているが更に努力が必要である。

主に、住宅使用料の滞納累積についての対策も努力してゆかねばならない。

滞納者には督促状や催告を実施し、特に悪質滞納者に対しては法的措置を実施するなど、又、公的立場にあるものに関しては、早急に対応し委員会において指摘された事項に関しては、改善に全力で取り組んでいただきたい。

また、監査意見書には、重大な指摘事項もあり、とりもなおさず指摘事項は謙虚に受け止め、町民に疑心暗鬼を抱かせることのないよう、町政運営にあたっては留意願いたい。

多々指摘はあつたが、採決の結果、平成20年度 伊仙町一般会計歳入歳出決算

平成20年度 伊仙町国民健康保険特別会計歳入歳出決算

平成20年度 伊仙町老人保健特別会計歳入歳出決算

平成20年度 伊仙町介護保険特別会計歳入歳出決算

平成20年度 伊仙町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

平成20年度 徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計歳入歳出決算

平成20年度 伊仙町簡易水道特別会計歳入歳出決算

平成20年度 伊仙町上水道事業特別会計歳入歳出決算については、全会一致で認定することと決定いたしました。

(委員長 杉並 廣規)



姫島村研修報告

(大分県姫島村8月3日～5日)

大分県姫島村位置図



戸内海に浮かぶ

姫島は、肉眼でも

建造物が確認で

きる程の場所6

km前方にありま

した。連絡船姫島

丸に乗船20分

で姫島港に到着、旅

館に移動、2時か

ら3時半まで役

場で資料に基づ

く説明を受け、質

疑・意見交換その

後、島内の視察研

修を行いました。

1 役場での行政説明に

よりまずと、姫島村では

役場職員の給与水準を国

家公務員の73%に低く抑

えて、1人でも多くの入

りが島に残れるよう、雇用

するワークシェアリング

を40年も前から実行して

おり、それが今では当た

り前のこととなっている

とのことでした。ちな

みにラスパイレシ指数(国

家公務員の給与水準を

100とした時の地方公

務員の給与水準)の全国

町村平均は94・2%であ

るのに対し、私達伊仙町

では86・1%となってい

ます。姫島村の職員数は

現在190名で、この内

の120名が村営の診療

所やフェリーに勤務する

現場職員であります。

ラスパイレシ指数は、全

国で3番目に低い数字と

なっておりますが、それ

でも役場職員の給与は村

内事業所の農協や漁協、

えび養殖会社といった主

な職場の給与に比較すれ

とでした。

2 離島という立地条件

から経営的に民間の参入

は難しく、行政と村民が

知恵を出し合い、多方面

において村の力で行って

おります。

地場産業の育成もまま



所管事務調査 (姫島村庁舎)

大分県姫島村の堅実で

先進的な政策実践活動の

情報が伊仙町議会でも話

題となり、我が町の政治・

政策のありようにも勉強

になるとの事で、8月6

日鹿児島市で行われた議

員研修会に連動して研修

して参りました。

8月4日8時、バス

で福岡市出発、12時に

大分県国東半島北端の

伊美港に到着、港の埠

頭から見渡す波静かな瀬

ならず、職員給与を低く抑えて、できるだけ多くの人を雇用して残すことは、雇用の場が少なく過疎化を防ぐ為に多くの職員を抱える姫島村にとって、これがベストではないかも知れませんが、ベターであると考えているとのことでした。

尚、助役・収入役の役職は置いてなく、議員定数は8名です。又、特別職の報酬も職員と同じく低く抑えております。



アキ缶を持参すると10円が返ってくる。(シール貼付け)

3 姫島村は伊仙町(面積62・7km²)の1/9の面積7km²に人口2,500人の一島一村の離島であります。デポジットシステムを昭和61年4月から実施しており、回収率90%で町内にポイ捨て空き缶類は全くなり、デポジット制度は村民の生活習慣に溶け込んでおります。

4 診療所を核とした、

保健・医療・福祉の連携は姫島方式の地域包括ケアシステムとして全国的にも注目され、高い評価を受け実績をあげているとのことです。更に保育所から診療所・火葬場までのほとんどの生活・産業基盤が完備・完結しており、密に連携して「姫島に生まれ育ち、この島で働き、この島で一生を全うする」を支える町民福祉の流れが完全に結実していることに驚かされました。

5 姫島村には、大きな高層建造物や工場、繁華街もなく、自然と共生した姫島パラダイスの建設に行政・住民が一体となって急がず、焦らず、取



養殖から加工まで(姫島水産加工センター)

り組んできた事が姫島気風「のどかで質素な情景」となってひしひしと肌で感じられ、これからの伊仙町のことを自問自答することでした。

最後に姫島パラダイスの前途を祈り、我が伊仙町

も姫島村に学び、町民一体となって前進する決意を新たにして先進地研修報告と致します。

(議長 上木 勲)

伊仙町堆肥生産組合未収金調査 特別委員会委員長報告

去る、7月17日に役場議
会委員会室において、堆肥
生産組合の理事の面々と意
見交換を行いました。

経過等いろんな意見が出
まして結果として、
1回収には最大限の努力を
する。

2土地の差し押さえは役場
です。

3滞ったときは、役員会の
中で決定していく。

4本人が亡くなったときは、
当時の役員が責任を負うが、
全責任は大久保組合長でも
つということ。

と確認がなされました。

また、本日の午前中に調査
特別委員会を開催し、この
結果を報告し、組合長から

責任の取り方や理事の中か
らも、定期的に収納状況等
連絡を取り合って解決して
いきますとのことであり、
当調査特別委員会も当初の
目的を達成したので、今回
の報告を持って「伊仙町堆
肥生産組合未収金調査特別
委員会」を解散します。

(委員長 伊藤 一弘)



現在、民間委託されている堆肥センター

関西伊仙町 連合会来町

10月10日(土) 一行来町
結婚式
お見合い

10月11日(日) 町民体育祭
文化交流会

10月12日(月) 闘牛大会
島内観光

10月13日(火) 帰
阪

関西伊仙町連合会の一行が
来町。11日(日)に行われた
第50回町民体育祭にも参加し
て、大成功を収めた。



徳之島2世の結婚式(ほーらい館)

議会や議会だよりへのご意見をください!

あなたの声を紙上でご紹介させていただきます。
議会広報委員会(議会事務局)までお寄せください。

○本会議の質疑・一般質問等の詳細は、議会会議録をご覧ください。
議会会議録は、図書室・各議員・役場行政係・議会事務局にあります。

※議会傍聴はどなたでもできます。
次回の定例会は、12月中旬を予定しております。

議員の奉仕作業

10月6日(火) 午後1時から、議員10名・企画課職員・議会事務局職員と西犬田布集落の方々、総勢約40名による犬田布岬の奉仕作業が行われました。

日頃、たくさんの観光客が訪れる犬田布岬ですが、今回のように大勢で作業をする機会がなかなかなく、手入れが行き届いていない箇所も見られました。



農業機械持参で奉仕作業

台風接近のため、朝から雨模様の中、たくさんの方々各自で作業用具を持参し、一生懸命に奉仕作業に取り組んでいました。

約3時間の奉仕作業は、みなさんの協力によりスムーズに進み、岬全体が見違えるほどきれいになりました。

いになりました。いつでも気軽に訪れることのできる場所だからこそ、1人1人の心がけで、これからもきれいに利用していきたいものです。



議長も率先して作業を行いました。



慰霊塔前の芝生の刈り取り。

議 会 の う ご き

平成21年8月

3～5日 大分県姫島村研修会

6日 市町村政研修会

12日 奄美・やんばる広域圏交流推進協議会総会

19日 合併浄化槽市町村事業説明会

9月

10日 議会運営委員会

15～18日 第3回定例議会

10月

5日 介護保険組合議会(徳之島町)

6日 議員奉仕作業(犬田布岬)

8日 3町事務局長会

(伊仙町議会事務局)

10日 関西郷友会来島・結婚式

11日 町民体育祭・文化交流会

12日 全島一闘牛大会(伊仙場所)

13日 伊仙町長選挙告示

15日 広報研修会(鹿児島市)

18日 伊仙町長選挙投票日

28～30日 離島議長行政視察研修(五島市)

30日 県戦没者追悼式(県体育館)

編集後記

私たち編集委員も、今号の発行で2年間の任期を終えることになりました。

この仕事は裏方的ではありませんが、年4回開催される定例会や臨時会、各常任委員会の閉会中の委員会活動等を含め、議会全体の活動を町民の皆様へ、紙面を通して分かりやすく知らさなければならぬ、重要な任務です。

この2年間、事務局をはじめ、私たち編集委員会に多くの情報・資料を提供してくださった町民及び各職場の皆様へ感謝し、今後とも「議会だより」を愛読して下さることをお願いいたします。(杉並廣規)



レイアウト作業中の委員

議会広報編集委員会

- 委員長 杉並 廣規
- 副委員長 伊藤 一弘
- 委員 永岡 良一
- 委員 幸 浩三
- 委員 隆之